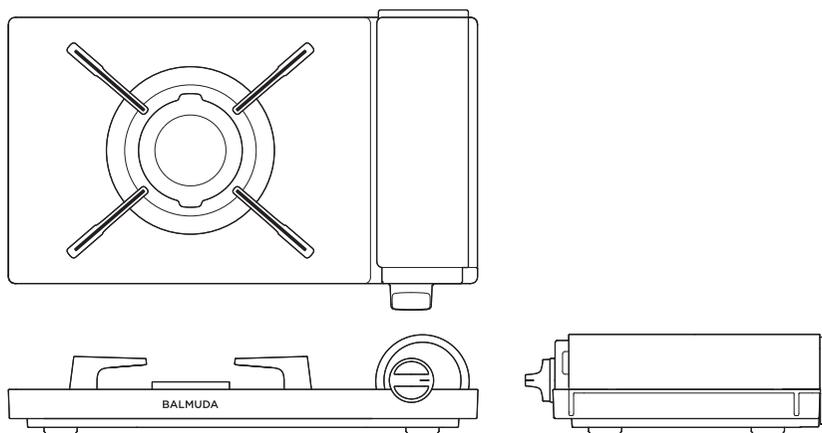




Table Stove



カセットコンロ（家庭用）

KGS01JPシリーズ

取扱説明書 保証書付

重要

この度は、「Table Stove」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご使用前に必ず本書、および本書の「安全上のご注意（P.2～8）」をお読みください。

また、「△」マークと併記されている内容は特に注意してください。本書は保証書をかねております。「お買い上げ日・販売店名」がわかる購入証明書とともに、お読みになった後も大切に保管してください。

日本国内専用

日本国外では使用できません。保証や修理の対象外となります。

FOR USE IN JAPAN ONLY
WARRANTY VOID IF USED OUTSIDE JAPAN

もくじ

安全上のご注意	2
パッケージ内容	9
各部の名前	9
安全機構について	10
使いかた	11
お手入れ	14
こんなときは	16
製品ユーザー登録のお願い	17
ご相談窓口	17
保証とアフターサービス	17
譲渡について	18
廃棄について	18
製品仕様	18
保証書	裏表紙

安全上のご注意

ご使用前によくお読みのうえ、正しく使用してください。この取扱説明書に記載の注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、人体やペットへの危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。

誤った使用によって生じる危害や損害を区分して表示しています。

⚠ 危険 「死亡または重傷を負う差し迫った危険がある内容」を示しています。

⚠ 警告 「死亡または重傷を負う恐れがある内容」を示しています。

⚠ 注意 「軽傷を負う可能性や家屋・家財などの損害が発生する恐れがある内容」を示しています。

使用上お守りいただく内容を図記号で説明しています。

⊘ してはいけない「禁止」
内容を示しています。

! しなければならない「指示」
内容を示しています。

⚠ 一般的な注意内容を示しています。

⚠ 危険

火災事故、ガス事故防止のために

! **ガス漏れに気づいたら、すぐに火を消す。**
ガスが漏れるとガスのニオイ（くさった玉ねぎのようなニオイ）がします。引火により爆発の恐れがあるため火気を使用せずに、すぐに次の処置を行ってください。

また、容器（ボンベ）がセットされた状態でつまみが OFF（消火）以外の位置にあるとき、点火していないと、ガス漏れを起こしているため、同様に次の処置を行ってください。

①火を止める（つまみを OFF（消火）の位置にする）。

②容器（ボンベ）をこころから取り外す。

③窓や戸を開けて換気を行い漏れたガスを外に出す。

※ブタンガスは空気より重く下部にたまりやすい性質をもっています。

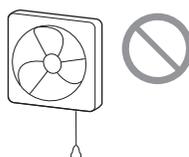
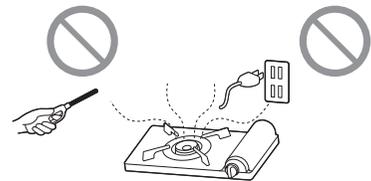
※スイッチを入れた際に火花が出るため、換気扇は使用しないでください。

⊘ **ガス漏れに気づいたら、火や火花で引火し爆発事故を起こすことがあるため次のことは行わない。**

①周辺で火を使用。

②電気器具（換気扇その他）スイッチを操作。

③電源プラグの抜き差しや、周辺で電話を使用。



⚠ 警告

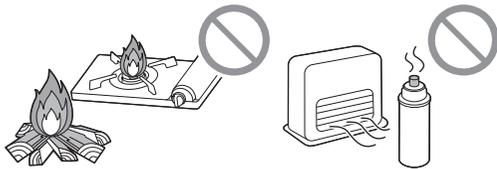
容器 (ボンベ) について

- ⊘ 使用する容器 (ボンベ) は、専用の容器 (ボンベ) 『マイ・ボンベL』 『マイ・ボンベα』 以外のものは使用しない。

容器 (ボンベ) に表示してある注意事項をよく読んでから使用してください。違う容器 (ボンベ) を使用するとガス漏れの原因となります。万が一、違う容器 (ボンベ) を使用した場合の故障及び事故などについては補償、保証の対象外となります。

- ⊘ 容器 (ボンベ) 及び容器 (ボンベ) が装着された本製品を火気の近くや熱気のある場所に置かない。

熱で容器 (ボンベ) の圧力が上昇し爆発の原因となります。火気からは2m以上離してください。

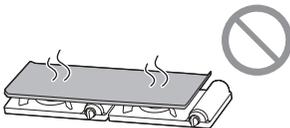


- ⊘ 輻射熱による影響で容器 (ボンベ) が過熱により爆発する恐れがあるため、以下のような使用は絶対にしない。

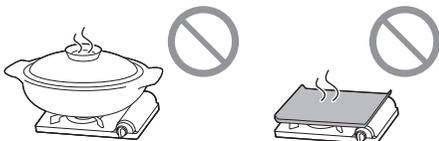
①炭・練炭などの火おこしでの使用。



②こんろを2台以上並べての使用。



③外径 30 cmを超え、かつ容器カバーを覆うような鍋や鉄板の使用。



④セラミックス付調理器具 (焼き網・鍋・魚焼器など)・鉄板・陶板・ジンギスカン鍋・韓国鍋 (石鍋)・たこ焼鉄板・焼網・貝殻・魚焼器・省エネごとく・省エネリングなどの使用。

⑤電磁 (IH) 調理器・電熱器など熱が発生する器具の上での使用及び保管。



⑥ごとく・汁受けを取り外しての使用。

⑦鍋の空焚き (土鍋・長時間のおじや料理など)。

⑧石や砂、陶器、セラミックなどを使い蓄熱で調理する器具 (焼きイモ器など) の使用。

⑨その他、空焚きや容器 (ボンベ) を過熱するような使用。

⑩ごとくを反転しての使用。

⑪こんろの容器カバーを閉じないままでの使用。

- ⊘ 変形した容器 (ボンベ) は使用しない。
ガス漏れの原因となります。

- ⊘ 故意に容器 (ボンベ) のガスを吸い込まない。
窒息死の原因となります。

- ⊘ 容器 (ボンベ) に強い衝撃を与えない。
容器 (ボンベ) が変形し、こんろにセットできない、またガス漏れの原因となります。



- ⊘ 容器 (ボンベ) を気象状況の影響を受ける場所や、海拔の高い場所では使用しない。
不完全燃焼となり、一酸化炭素濃度が上昇して一酸化炭素中毒の原因となります。

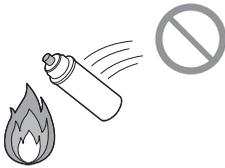
- ⊘ 容器（ボンベ）を振って“サラサラ”と音がする場合、容器（ボンベ）を捨てない。
容器（ボンベ）内にガスが残っているため、爆発の原因となります。確実に使い切ったことを確認し、地域の取り決めに従って廃棄してください。



- ⚠ 容器（ボンベ）は必ずキャップを付け、火気や直射日光（室内や車中の窓際など）を避けて風通しの良い湿気の少ない気温40℃未満の場所で保管する。
熱で容器（ボンベ）の圧力が上昇し爆発の原因となります。



- ⊘ 容器（ボンベ）を火中に投入しない。
熱で容器（ボンベ）の圧力が上昇し、爆発の原因となります。



- ⚠ 使用後は容器（ボンベ）を取り外す。
装着したまま保管すると何らかの原因でつまみが回った場合、ガス漏れや引火の原因となります。

こんろの設置について

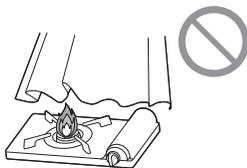
- ⊘ 車内、テント内などの狭い空間では絶対に使用しない。
一酸化炭素中毒死や酸欠による窒息死、周囲の可燃物に引火して火災の原因となります。



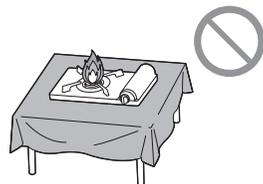
- ⊘ ガソリン、灯油、ガスなどの危険物の近くで使用しない。
引火による爆発の原因となります。



- ⊘ カーテンなど燃えやすいもののそばでは使用しない。
火災の原因となります。



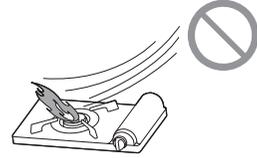
- ⊘ こんろの下にダンボールなどの燃えやすい紙製品や熱に弱いもの（たたみ、じゅうたん、ビニールクロスなど）を敷く、また通気のさまたげになるものを置かない。
ヤケド、変色や家財などの損傷、火災の原因となります。



- ⊘ **こんろの下が砂や小石、草、植物の切り株など、容器（ボンベ）やバーナーに対して輻射熱や物理的な影響を及ぼすような場所では使用しない。**
放熱が悪くなり、容器（ボンベ）が加熱して、爆発の原因となります。



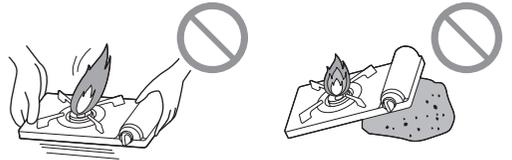
- ⊘ **強い風の吹き込む場所で使用しない。**
風で炎が消えるとガス漏れの原因となります。また、炎がこんろ内部やテーブルなどになびいた場合、焦げ、火災の原因となります。またバーナーの炎がこんろに巻き込まれ、事故、こんろ焼損の原因となります。



- ⊘ **棚の下など、落下物の恐れがある場所では使用しない。**
火災の原因となります。



- ⊘ **使用中に持ち運んだり、傾けたりしない。傾斜をつけて設置しない。**
水平な場所で使用してください。点火したままの持ち運びや、不安定な場所や傾けての使用は、こんろがひっくりかえりヤケド、ケガの原因となります。また炎が大きくなることがあり、火災、ヤケド、ケガの原因となります。



こんろの使用について

- ⊘ **こんろ本来の調理目的以外に使用しない。**
過熱・異常燃焼などによる焼損、火災などの原因となります。

- ⊘ **こんろや容器（ボンベ）を絶対に分解、改造しない。**
一酸化炭素中毒死やガス漏れや故障・火災など、予期しない事故の原因となります。

- ⊘ **子供だけの使用や、幼児の手の届くところでの使用はしない。**
ヤケド、ケガ、予期しない事故の原因となります。

- ⊘ **ごとくを取り外したり、汁受けに水を入れたりしない。**
故障、予期しない事故の原因となります。



- ⊘ **防風用器具などの補助具は使用しない。**
予期しない事故の原因となります。

- ⊘ **アルミホイルや可燃性のものを調理に使用しない。**
火災の原因となります。



- ⊘ **アルミ製の汁受けマットは使用しない。**
過熱によりこんろやテーブルなどを焼損する原因となります。

- ❯ **こんろを衣類の乾燥や暖房器具のかわりとして使用しない。**
衣類が落下した場合、火災の原因となります。



- ❯ **使用中や使用後すぐにこんろのバーナー付近に顔や手や衣類などを近づけない。**
ヤケド、ケガの原因となります。

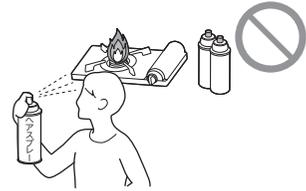
- ❯ **使用中の外出や就寝など、こんろのそばから離れない。**
火災、予期しない事故の原因となります。電話や来客などの数秒の場合でも、一度火を消してください。特に油を使用した調理をしているときは注意してください。



- ❯ **荷重（鍋と食品の合計重量）が10kgを超えるような重い鍋を載せたり、荷重をかけたらない。**
変形が生じてヤケド、ケガ、予期しない事故の原因となります。

- ❯ **点火ミスで繰り返し点火操作を行うと「ポツ」という音が生じて炎が上がることもあるため、点火操作時は顔や手をバーナーに近づけない。**
ヤケド、ケガの原因となります。

- ❯ **使用中は、近くに予備の容器（ボンベ）やヘアスプレーなど可燃性ガス（液化石油ガス）、燃えやすいもの（紙、ビニール、プラスチックなど）などを置いたり使用したりしない。**
爆発、火災、ヤケドの原因となります。



- ❯ **使用中及び OFF（消火）後しばらくは、バーナー・ごつく・汁受け・ヒートパネル、及びこんろが熱くなっているのを触れない。**
ヤケド、ケガの原因となります。特にお子様がこんろに触れないよう、十分に注意してください。



- ❯ **こんろの底部から空気や煙を吸い込む場所（無煙ロースター付きテーブルなど）では使用しない。**
無煙ロースターは、使用してなくても空気を吸い込んでいる場合があるため、異常燃焼によりこんろやテーブルが焦げる原因となります。

- ❯ **容器（ボンベ）の底部と、こんろの間にももの（小石や厚紙の束など）をはさまない。**
圧力感知安全装置が働かなくなり、容器（ボンベ）が爆発する原因となります。

⚠ 注意

容器（ボンベ）について

❗ 容器（ボンベ）は確実に装着する。
ガスが漏れて火災の原因となります。

❗ 容器（ボンベ）はサビのないことを確認し、
製造日（缶底に西暦年月日で印字）から約
7年以内を目安に使い切る。
サビが発生し始めている場合には、ガス漏れのな
いことを必ず確認し、できるだけ早く使い切って
ください。

❗ 気温が10℃以下のときには、点火改善の
ために容器（ボンベ）を振ってからセットする。
ブタンガスの特性により、10℃を下回ると気化し
にくくなり、5℃以下になると、ほとんど気化しな
くなるため火力が弱まり、見えなくなります。

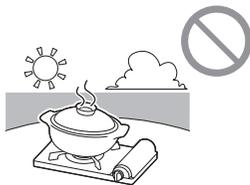
こんろの設置について

❗ 使用中は窓を開けるまたは換気扇を回すな
ど、必ず換気を行う。
閉めきった部屋で長時間使用しないでください。
一酸化炭素中毒、酸欠の原因となります。

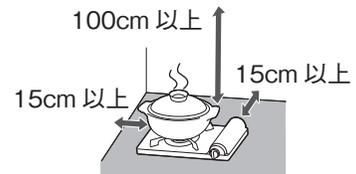


❗ 夏の砂浜・砂利・アスファルトなど日光によ
って容器（ボンベ）が過熱され爆発する恐れ
があるため次の項目を守る。

- ①直射日光の当たらない場所で使用する。
- ②地面の熱の影響を受けない場所で使用する。



❗ 使用する際、家具や壁（木造建築）など可
燃物から15cm以上離して使用する。
壁などが過熱され低温火災の原因となります。こ
んろ上方と、可燃性の天井、棚、電気器具など
の間は100cm以上離してください。



こんろの使用について

- ❗ **必ず、ガス漏れがないこと、ON（点火）・OFF（消火）動作に異常のないことを確認してから使用する。**

故障または破損したものと思われるものは絶対に使用しないでください。

- ❗ **一度で点火しなかった場合は引火に注意する。**

再点火の際は、ガスのニオイ（くさった玉ねぎのようなニオイ）がなくなったことを確認してください。溜まったガスがあると、爆発的な点火や、周囲に引火する危険があります。

- ❗ **万が一、異音・異臭・赤火などを起こしたときや緊急の場合は、あわてずつまみをOFF（消火）の位置まで回して火を消し、容器（ボンベ）をこんろから取り出す。**

「こんなときは」P.16を参照し指示に従ってください。

- ❗ **使用時の点火、使用後の消火確認のほか、使用中も正常に燃烧しているかを時々確認する。**

火が消えている状態でつまみがOFF（消火）以外の位置になっているとガスが出て火災の原因となります。

- ❗ **調理中は、煮こぼれや火を弱めすぎると風で炎が消える、あるいは炎が大きくなる恐れがあるため注意する。**

容器（ボンベ）がセットされた状態で、つまみがOFF（消火）以外の位置にある場合、点火していないとガス漏れを起こしています。

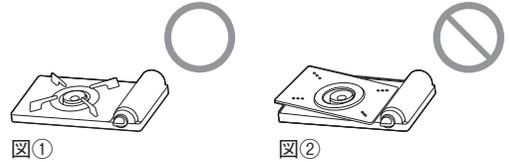
P.2の「ガス漏れに気づいたら、すぐに火を消す。」の安全文をご確認ください。

- ❗ **調理中、煮こぼれた液体は調理後お手入れを行う。**

バーナー付近に付着した煮こぼれた液体を放置すると経年で腐食し、ガス漏れを起こす可能性があります。また煮こぼれが蓄積すると火災の原因となります。

- ❗ **汁受けは必ず図①のように正しくセットして使用する。**

図②のように反転しての使用はできません。必ず正しくセットして使用してください。



- ❗ **無垢材、一枚板、ガラス製のテーブル、漆塗り、塗装、ウレタン系コート、合成樹脂材などの熱に弱いテーブルの上でご使用の場合は、テーブルの耐熱温度及び取扱い上の注意を確認する。**

使用中のこんろ底部は、たいへん熱くなっており、テーブルの割れ、変形、変色、破損、焼損の原因となります。必ずテーブルの耐熱温度と取扱い上の注意をご確認のうえ使用の可否をご判断ください。

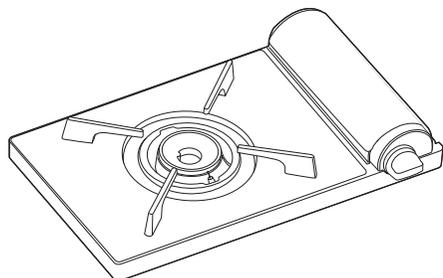
- ❗ **ごとくの上面や鍋の底面に油が付着していると点火したとき、発煙・発火したり、鍋を載せたとき滑り落ちたり点火したこんろに油が引火する恐れがあるため注意する。**

火災の原因となります。

パッケージ内容

※各部品の数は一全て1個です。

※容器(ボンベ)は別売りとなります。



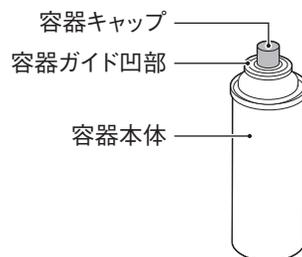
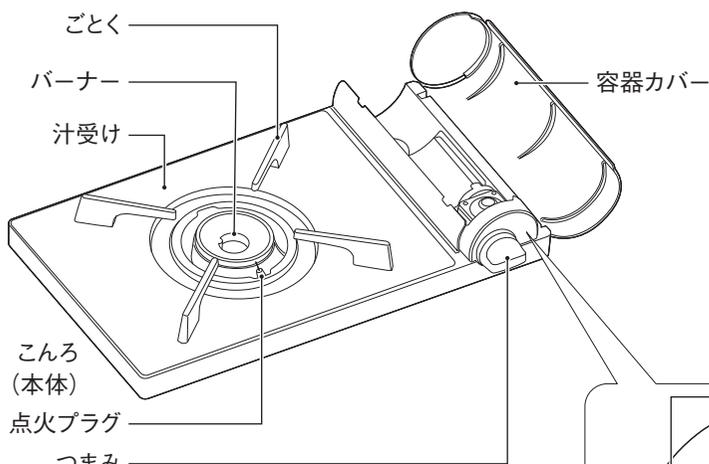
こんろ(本体)



取扱説明書
(本書/保証書付)

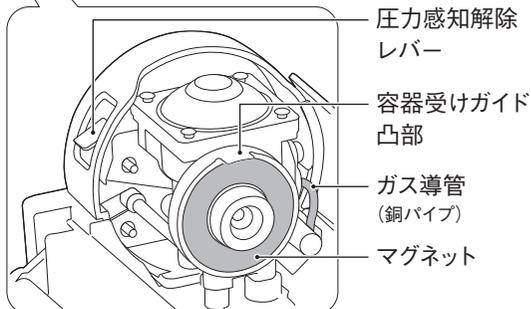
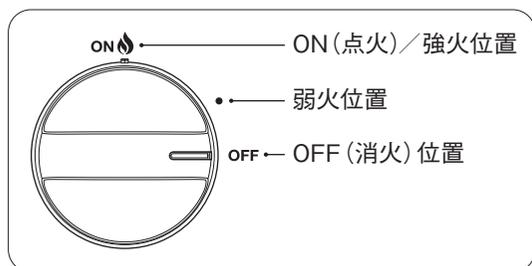
各部の名前

※下図のように、ごとくを上向きにして置き、使用してください。



専用容器(ボンベ)

※『マイ・ボンベL』『マイ・ボンベa』以外のものは使用しないでください。



特長

火力の維持: ヒートパネル方式を採用しているため、バーナーの熱を容器(ボンベ)に伝えて、容器(ボンベ)内ガスの気化を促進させ、火力を維持することができます。

※このため、容器(ボンベ)が温かくなります。

簡単な容器(ボンベ)の着脱: 容器(ボンベ)の取り付け、取り外しが簡単なマグネット着脱式を採用しています。

安全機構について

圧力感知安全装置

不適切な使い方をされた場合、容器（ボンベ）が異常に熱くなり、容器（ボンベ）内の圧力が上昇したとき、自動的にガス通路を遮断して消火します。

容器（ボンベ）装着安全機構

容器（ボンベ）はつまみが OFF（消火）の位置にないと、容器（ボンベ）がセットできません。

容器（ボンベ）誤装着防止機構

容器（ボンベ）を正しくセットしないと、使用できないようになっています。

汁受け反転安全機構

汁受けが反転していると（ごとくが下向き）、汁受けが正常にセットできないようになっています。

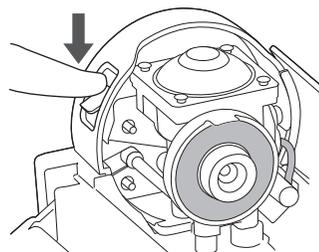
圧力感知安全装置が作動したときの処置方法

- ①つまみを OFF（消火）の位置に戻してください。
- ②容器カバーを開け、容器（ボンベ）をこんろから取り出してください。
- ③圧力感知解除レバーを指で下におろし、解除してください。
- ④「安全上のご注意」 P.2 ～ 8 を再度確認してください。
- ⑤再度使用する場合、温度が充分に下がった容器（ボンベ）か、冷暗所で保管していた別の容器（ボンベ）を再セットしてください。
（セット方法は「使いかた」 P.11 の容器（ボンベ）セットを確認してください。）

※最初から容器（ボンベ）内の温度が上がっていると、セットしてもガスが出ない場合があります。これは、安全装置が作動するため故障ではありません。

※安全装置が作動した場合は速やかに容器（ボンベ）を取り出してください。

圧力感知解除レバーを指で下におろし、解除する。



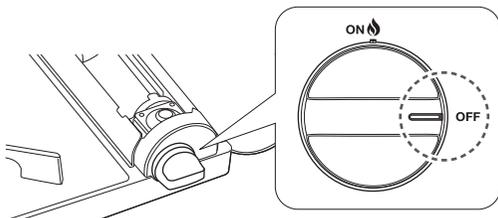
使いかた

容器（ボンベ）は容器ガイド凹部を上にして、こんろの容器受けガイド凸部に合わせ、正しくセットしてください。正しくセットしないとガス漏れを起こし、火災の原因となります。

容器（ボンベ）セット

1 容器カバーを開けてください。

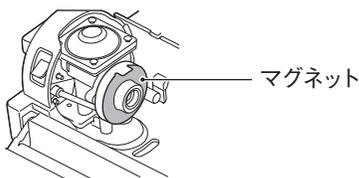
2 つまみがOFF（消火）の位置にあることを確認してください。



つまみをOFF（消火）の位置にしないと、「容器（ボンベ）装着安全機構」がはたらき、セットできません。

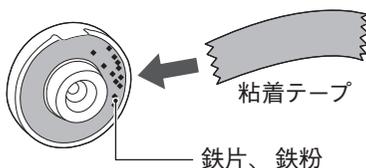
3 マグネットに異物（鉄片や鉄粉）が付着していないか確認してください。

付着していたら粘着テープを使って除去してください。



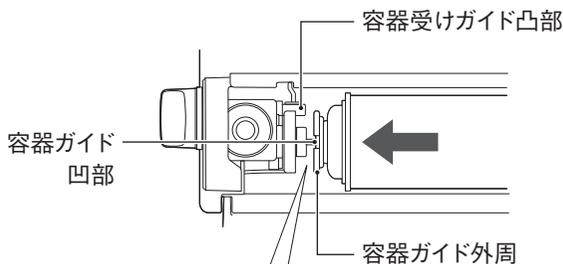
容器（ボンベ）セット時の注意

マグネットに鉄片や鉄粉が付着しているとガス漏れや容器（ボンベ）がセットできなくなる場合があります。付着物がついている場合、粘着テープを使って取り除いてください。



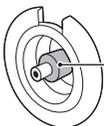
4 容器（ボンベ）の容器キャップを外し、容器ガイド凹部を上にして、こんろの容器受けガイド凸部に容器ガイド凹部を合わせてください。

容器ガイド外周が完全にマグネットへ密着するまで押しつけてセットしてください。



マグネットと容器（ボンベ）の間に隙間がないように密着させてください。

※容器（ボンベ）がセットしにくい場合は、容器（ボンベ）の右図の部位に植物油を薄く塗ってください。



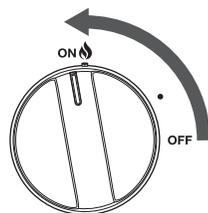
植物油塗布部位

5 容器カバーを閉めてください。

6 必ずガス漏れがないことを確認してください。

ON (点火)

つまみを ON (点火) の位置へ
“カチッ”と音がするまでゆっくり回し、
バーナーに火が点いたことを確認してください。



一度で点火しないときは、つまみを OFF (消火) の位置まで戻し、上記の動作を繰り返してください。
その場合「ポッ」という音がして少し炎が上がる恐れがありますので、顔や手をバーナーに近づけないでください。

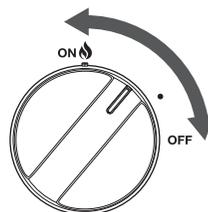


点火していないのに、つまみを OFF (消火) の位置以外にしておくと、ガス漏れを起こします。
必ず着火を確認してください。

火力の調節

つまみを回して、調理に合った火加減に調節します。

- 火力を弱める→炎を確認しながら、つまみを OFF (消火) の方向にゆっくり回して調節してください。
- 火力を強める→炎を確認しながら、つまみを ON (点火) の方向にゆっくり回して調節してください。

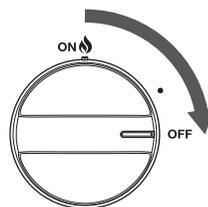


火力を弱める際につまみを急激に回すと炎が消え、ガス漏れを起こします。
火力を弱めると風などで炎が消えることがあるので注意してください。
使用中は、正常に燃焼しているかを時々確認してください。

OFF (消火)

つまみを OFF (消火) の位置へ戻してください。

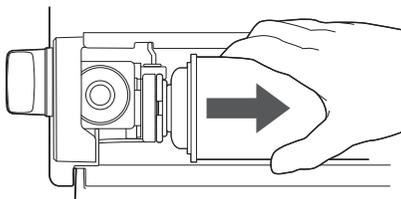
ガスが止まりバーナーの火が完全に消えたことを確認してください。



つまみは完全に OFF (消火) の位置に戻してください。
火が消えても完全に戻っていないと、ガス漏れを起こします。

容器（ボンベ）の取り出し

- 1 容器カバーを開けてください。
- 2 容器（ボンベ）を引いてマグネット密着部から外してください。



- 3 取り出した容器（ボンベ）は、必ず容器キャップを付け、火気や直射日光（室内や車中の窓際など）を避けて風通しの良い湿気の少ない気温40℃未満の場所で保管してください。



容器（ボンベ）を取り出した後も、こんろには微量のガスが残っています。

危険防止のため、再度点火し、残っているガスを燃やし切ってから、つまみを OFF（消火）の位置に戻してください。

バーナー全周に火が回らないことがあります。

新品の容器（ボンベ）を使用時は、混合ガス（ガス+空気）の流れる噴射スピードが一番早く、バーナーの一部火口部から炎が出ない事があります。ガスは横の火口部の炎と一緒に燃焼されているため、ガス漏れは発生しておりません。ガスの特性によるものなので、安心してご使用ください。

またバーナーが温まるとバーナー内のガスの流れが低下し、次第に火口部全周に着火します。

一部の火口部に着火しない場合は、次の処置のどちらかを行なってください。

① ごとくに鍋を置く

② 火力を一旦弱火にし全周に着火した後、再度最大火力位置に戻す

お手入れ

使用後はそのつど必ずお手入れをしてください。



お手入れは、必ず容器（ボンベ）を取り出して、こんろが十分に冷えてから行う。
ヤケドやケガの原因となります。こんろの裏側など収納時に手をかける部分も十分に冷えていることを確認してから行ってください。

お手入れの際には、手や指の保護のために必ず手袋などを使用する。

手や指のケガの原因となります。

故障または破損したと思われるものは、使用しない。

ご家庭での分解修理は絶対に行わずバルミューダサポートセンター（P.17）までお問い合わせください。

シンナー・ベンジン・みがき粉・ナイロンたわし・金属製たわしなどの傷つきやすいものは、使用しない。

故障やサビの原因となります。

こんろや容器（ボンベ）の丸洗いは絶対にしない。

ガス漏れや故障の原因となります。



■ こんろ（本体）

お湯でしぼったきれいな布で汚れをふき取ってください。

汚れが取れにくいときには薄めた中性洗剤をしみ込ませた布で充分に取った後、きれいな乾いた布でもう一度ふいてください。

そのとき、ガス導管（銅パイプ）を動かさないよう注意してください。

※汚れたままの状態ですと故障やサビの原因となります。

■ バーナー・バーナー周辺

バーナーの火口が詰まって炎が不揃いになったときや汚れがひどいときには、金属ブラシなどで掃除してください。

点火プラグの汚れは、点火不良の原因となります。乾いた布でふき取ってください。

※お手入れの際には、点火プラグの位置を動かさないよう注意してください。

※バーナーの火口が詰まると、不完全燃焼の原因となります。

※バーナー・バーナー周辺のみ金属ブラシをご利用いただけます。他の部位では使用しないでください。

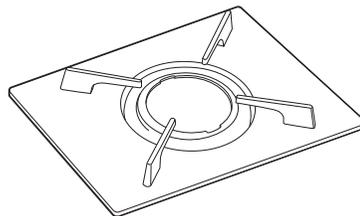
■ 汁受け・ごとく

お湯でしぼったきれいな布で汚れをふき取ってください。

汚れが取れにくいときには薄めた中性洗剤をしみ込ませた布で充分に取った後、きれいな乾いた布でもう一度ふいてください。

※お手入れの際には、点火プラグの位置を動かさないよう注意してください。

※汁受けやごとくを煮汁や油で汚れたままにすると、腐食の原因となります。



■ 容器（ボンベ）

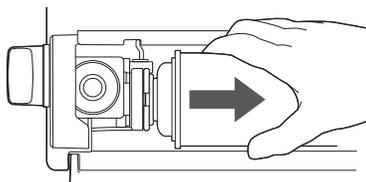
お湯でしぼったきれいな布で汚れをふき取ってください。

汚れが取れにくいときには薄めた中性洗剤をしみ込ませた布で充分に取った後、きれいな乾いた布でもう一度ふいてください。

※汚れたままの状態ですと故障やサビの原因となります。

長期間使用しないとき

- ・ 保管する前に、汁受け・本体などが汚れていないか、よく乾いているか確認してください。
- ・ こんろの各部が十分に冷えてから箱に入れ、湿気の少ない場所に保管してください。
- ・ こんろに容器（ボンベ）をセットした状態のままでは保管せず、必ず取り外して保管してください。



容器（ボンベ）を引いてマグネット密着部から外す

- ・ 容器（ボンベ）は、容器キャップを付け、風通しの良い湿気の少ない室温40℃未満の場所に保管してください。
- ・ 使用の有無にかかわらず、汚れやサビが酷く、古くなったこんろは、安全のため使用する前に点検修理を依頼してください。

※長期間容器(ボンベ)を保管、あるいは保管状態が悪いとサビが発生し、ガス漏れの原因となります。時々点検してください。容器(ボンベ)は古いものから使用し、早めに使い切ってください。

※古いこんろを使用している場合、ガス漏れなどの事故が発生する危険性があります。製造年月日を確認して製造後約10年を目安に新しいこんろへの買い換えを検討してください。

こんなときは

原因 現象	ガスが少なくなっている	圧力感知安全装置の作動	バーナー火口部の目つまり	ガス導管のつまり	つまみの故障	点火プラグの汚れ	点火プラグの故障	点火の操作が適切でない	つまみが全開でない	容器(ボンベ)のセット不良	マグネットに鉄片・鉄粉が付着	つまみがOFF(消火)になっていない	容器(ボンベ)が10℃以下に冷えている	指定外の容器(ボンベ)の使用	ガスの射出圧が強い
点火しない 点火しにくい	●	●	●	●	●	●	●	●		●				●	
ガスが出ない	●	●	●	●						●				●	
バーナーに 火移りしない	●		●	●											●
黄炎で燃える			●	●										●	
炎が不揃い			●											●	
火力が弱い	●		●	●					●				●	●	
炎が不安定			●	●										●	
ガスの臭いがする					●			●		●				●	
使用中に消火する	●	●							●						
消火しない					●							●			
容器(ボンベ)が セットできない					●			●		●	●	●		●	
つまみをOFF(消火) にしてもガスが漏れる					●					●				●	
処置方法	新しい容器(ボンベ)に取り替える▼ P.13	安全装置についての説明の項を参照▼ P.10	金属ブラシなどで、目つまりを取り除く▼ P.14	点検修理を依頼する▼ P.17	点検修理を依頼する▼ P.17	汚れをふき取る▼ P.14	点検修理を依頼する▼ P.17	取扱説明書をよく読み、正しい操作をする▼ P.12	つまみを全開にする▼ P.12	容器(ボンベ)を表示通りにセットする▼ P.11	粘着テープで鉄片・鉄粉を取り除く▼ P.11	つまみをOFF(消火)にする▼ P.12	部屋の温度に充分なじませてから使用する▼ P.7	専用の容器(ボンベ)を使用する▼ P.3	ごとくに鍋を置く、もしくは弱火にして全周に着火させる▼ P.13

製品ユーザー登録のお願い



ご登録はこちら

BALMUDA ではお客様に最適な製品サポートを受けていただくために、製品ユーザー登録をお願いしております。登録にはシリアルナンバーの入力が必要です。シリアルナンバーは、こんろ側面のラベルで確認できる、13桁の英数字です。

ご相談窓口



バルミューダサポートページ
<https://www.balmuda.com/jp/support/>

バルミューダサポートページでは、FAQ やチャットサポートによるトラブル対処方法をご提案します。修理のお申し込みも可能です。

右記をご用意いただくと
円滑に対応できます。

- ・取扱説明書および保証書（本書）
- ・購入証明書（領収書、納品書など）
- ・シリアルナンバー（こんろ側面に記載）



シリアルナンバー

サポートページや取扱説明書をご覧いただいても解決しない場合、お電話にてお問い合わせください。

バルミューダサポートセンター ☎0120-686-717

受付時間 10:00 - 17:00（土・日・祝日および弊社休業日を除く）

通話料無料。携帯電話からもご利用になれます。

IP 電話など無料通話サービスをご利用いただけない場合は 0422-34-1705 におかけください。

※通話料はお客様のご負担となります。

バルミューダ株式会社 〒180-0023 東京都武蔵野市境南町 5-1-21

保証とアフターサービス

最適なサービスを確実に受けいただくため、製品ユーザー登録をお願いします。修理に関するご相談ならびに製品のお取り扱い、お手入れに関するご相談は、バルミューダサポートセンター（P.17）までお気軽にご連絡ください。

1) 保証期間は、お買い上げ日から1年間です。

購入証明書（領収書、納品書など）で保証期間内であることが確認できる場合に限り、無償で修理または交換いたします。購入証明書を大切に保管してください。

2) 修理・交換作業は弊社が承ります。また、修理・交換のために取り外した部品は、弊社が適切に処理、処分いたします。

3) 本製品の補修用性能部品の保有期間は生産終了後5年間です。補修用性能部品とは、本製品の機能を維持するために必要な部品です。

4) 当製品は日本国内での使用に限り保証、修理対応を行います。日本国外での使用に関しましては、アフターサービスは行いません。

This product is specifically designed for use in Japan. It cannot be used in other countries, or receive after sales service abroad.

譲渡について

譲渡される場合、本製品お買い上げ時の付属品および本取扱説明書も付属してください。また、BALMUDA ID のマイページから製品登録の削除をお願いします。

廃棄について

本製品およびその一部、容器（ボンベ）を廃棄する際は、お住まいの地域の規則に従ってください。

製品仕様

型式	KGS01JP
点火方式	圧電点火方式
安全装置	圧力感知安全装置
本体寸法	幅 (W) 425mm × 奥行 (D) 274mm × 高さ (H) 92mm
本体重量	約 2.5kg
火力	3.1kW (2700 kcal / h) ※ ¹
ガス消費量	約228g/h※ ¹
使用ガス	ブタンガス
使用容器（ボンベ）＜容量＞	マイ・ボンベL、マイ・ボンベa < 250 g> ※ ²

※¹ 周囲温度20～25℃

ガス消費量・使用時間は、表示火力にもとづく理論値です。実際とは異なる場合があります。

※² 本製品には容器（ボンベ）は含まれておりません。

保証書

品名 : Table Stove

販売店

型式 : KGS01JP

店名・住所・電話番号

保証期間 : お買い上げ日より1年

対象 : 本体

お買い上げ日 年 月 日

お客様 お名前

ご住所

お電話番号

無償修理をご依頼になる場合は本書に記載のバルミューダサポートセンターまでお問い合わせください。

修理等のご相談時にいただいた個人情報のお取り扱いについて

- 1) バルミューダ株式会社は、お客様の個人情報をお客様の対応や修理およびその確認時に利用し、これらの目的のためにご相談内容の記録を残すことがあります。
- 2) 次の場合を除き、弊社以外の第三者に個人情報を提供することはありません。
 - (a) 修理やその確認業務、輸配送を委託する場合。
 - (b) 法令の定める規定に基づく場合。バルミューダのプライバシーポリシーについてはこちらをご覧ください。▶ www.balmuda.com/jp/legal/privacy

この保証書は保証期間中に取扱説明書、本体ラベル、その他の注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合、本書記載内容で弊社が無償修理を行うことをお約束するものです。従って、この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

修理・保証の詳細については、修理規約をご覧ください。▶ www.balmuda.com/jp/legal/repair

- 1) 保証期間内でも以下に該当する場合は、保証の対象外とし、弊社は一切の責任を負いません。
 - (a) 取扱説明書、本体ラベル、その他注意書きに従わない使用状態（海外における使用を含む）に起因する故障または損傷。
 - (b) 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
 - (c) お買い上げ後の取り付け場所の移動、落下、引っ越し、輸送などによる故障または損傷。
 - (d) 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変ならびに公害や塩害、異常電圧、その他の外部要因による故障または損傷。
 - (e) 車両、船舶への搭載や極端な高温、低温、多湿、埃の多い場所などで使用された場合の故障または損傷。
 - (f) 一般家庭以外（例えば業務用など）で使用された場合の故障または損傷。
 - (g) 本書のご提示がない場合。
 - (h) 本製品のご購入を証明する購入証明書（領収書、納品書など）が無く、本書のお買い上げ日、お客様名、販売店名が確認できない場合。あるいは字句を書き換えられた場合。
 - (i) 付属品や消耗品などの場合（ただし、損害が材質上または製造上の瑕疵により生じた場合はこの限りではありません）。
 - (j) 表面的な損傷の場合（かすり傷、へこみなどを含みます）。
 - (k) 高温多湿の場所など保存上の不備、経年劣化、自然消耗による瑕疵の場合。
 - (l) 故障原因について虚偽の申告がなされた場合。
- 2) 保証期間内でも商品を弊社窓口へ送付された場合の送料や出張修理を行った場合の出張料は、お客様のご負担となります。
- 3) 故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合があります。
- 4) 修理に際して再生部品、代替部品を使用する場合があります。また、修理により交換した部品は弊社が適切に処理、処分いたします。
- 5) 本書に基づく無償修理（製品交換を含みます）後の製品については、最初のご購入時の保証期間が適用されます。
- 6) 故障によりお買い上げの製品を使用できなかったことによる損害については補償いたしません。
- 7) 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。
- 8) 本書は日本国内においてのみ有効です。

バルミューダ株式会社 〒180-0023 東京都武蔵野市境南町 5-1-21 ☎0120-686-717

Effective only in Japan